

第4回新中央市場建設検討会 議事要旨

1 日時

平成30年3月23日（金） 13時30分～15時30分

2 場所

広島市中央市場管理棟 3階大会議室

3 出席委員等氏名（敬称略）

出席者	委員 (16名中16名)	矢野、副島、森信、豊後、佐古田、山口、天方、佐々木、山本、井野口、高木、土岡、和田、出田、宮本、東森
	市職員(5名)	久保下経済観光局長、未定中央卸売市場長、皆川市場総括担当課長、国信市場整備担当課長、鈴木業務担当課長

4 議題

- (1) 議事内容の公開について（検討会開催時に議題とすることを承認）
- (2) 基本計画の素案について
- (3) その他

5 公開・非公開の別

非公開

※ 以降については、法人等事業情報等の非公開事項を除いた情報を記載

6 議事内容

- (1) 議事内容の公開について
原則非公開としている議事について、場内関係事業者等への検討内容の正確な周知を図るため、法人等事業情報等の非公開事項を除いた議事要旨を作成し、市ホームページ上へ公開することとした。
- (2) 基本計画の素案について
第3回検討会において提示した基本計画の骨子を、次のとおり素案の形に再構築し、各項目の記載内容の方向性を提示した。一部修正のうえ、了承を得た。

【基本計画の素案の概要】

第1章 基本計画策定の目的と経緯

第2章 整備に向けた基本的事項

- 1 現在の立地に整備された経緯
- 2 現在の施設概要
- 3 全国の卸売市場を取り巻く環境
- 4 当市場を取り巻く環境
- 5 構造的課題と課題解決に向けて

第3章 施設整備計画の内容

（各部会等の協議、民間活力導入可能性調査の結果を随時反映させる。）

- 1 国の指針等
- 2 施設整備の目的と重点分野

- 3 施設整備計画（施設整備の方向性の具体化）
施設整備規模、市と場内事業者との整備分担、施設整備に伴う導入機能 等
- 4 効率性・最適性を追求した市場施設の実現に向けて
民間活力活用の可能性、施設整備事業費、施設整備スケジュール 等

7 報告事項

- (1) 東部市場場内関係事業者の検討会への参画について
東部市場場内関係事業者について、新中央市場建設検討会への参画と、今後委員就任を依頼予定である旨を報告した。
- (2) 各部会等における検討状況について
各部会等において実施している必要とする品質管理の高度化等の機能や整備分担等の基本的な方針についての協議の状況を報告した。
- (3) 平成30年度の事業方針について
次の事務方針について報告した。
 - ① 検討会の開催（年度中4回）
 - ・基本計画の素案について、整理可能な事項毎に段階的に整理する。
 - ・市場全体に関わる内容を整理するとともに、各部会等での決定事項を報告する。
 - ・改正市場法への対応状況について随時整理する。
 - ② 各部門等での検討
市場機能としての品質管理の高度化や施設規模等の部門毎に異なる内容を検討する。
 - ③ 民間活力導入可能性調査
事業用定期借地制度やPFI手法など、民間事業者のノウハウを活用した場合の経費面や運営面での効果を明らかにするとともに、事業実施条件を整理する。これにより、必要な施設の民間による整備や賑わい機能の創出などを効率的・効果的に推進する。
 - ④ 先進他市場の調査
土地利用方法が異なる3市場を2回に分けて視察し、土地利用の手法や事業者の運営への参画、統合の影響とその対応等の参考とする。視察候補地は、横浜市南部市場、神戸市中央卸売市場本場、福岡市中央卸売市場新青果市場とする。

8 委員からの主な発言内容（◎は委員、◆は市）

- ◎視察については、その趣旨を理解したうえで行かないと、所期の目的は達成し難いと思う。
- ◎商工センターの賑わい・活性化より、この市場をどうするのかを最優先に考えていただきたい。
⇒ ◆賑わいについては、市場本来の役割をしっかりと果たしたうえでのもと考えている。
◆商工センターの活性化の議論においては、商工センターの活性化の中でこの中央市場をどうするのかといった議論は行っていない。中央市場は中央市場として機能強化を図っていないといけないものと考えている。
- ◎耐震強度が悪くない施設を補強して残すという選択肢はないのか。
⇒ ◆残すか残さないかは、補強工事の間の卸売場をどうするのかといった課題や、近い将来老朽化への対応が必要となること、新市場の建物配置や動線との関係などを考え合わせて、総合的に判断することになる。

- ◎東部市場場内関係事業者の検討会への参画に伴い、中央市場の青果部門においては、個別に東部市場場内関係事業者と協議の機会を設けてもらいたい。
- ◎中央市場の青果仲卸業者2社の中には、東部市場との統合の必要性に疑義を持つ者や統合の利点を示してほしいといった者もあり、今の段階では意見がなかなかまとまらないため、開設者が音頭を取って、青果部門だけの協議の機会を設けてほしい。
 - ⇒ ◆統合して取扱高を増やすことで広島市場全体を活性化し、競争力をつけることが、重要と考えている。開設者としても部門内の協議についてはしっかり対応していきたいと考えている。
- ◎関連事業者等が場外市場に出るとの方針で議論されることは了承するが、開設者や中央市場連合会との関わりがどうなるのか。
 - ⇒ ◆関連事業者等との協議の場で、場外に出ることとなる事業者さんと関わりについて話していきたい。